

一般質問 ～問い、答え、動き出す。～

7人の議員が坂祝町の現在と未来について、一般質問を行いました。

林 俊太 議員

●生活圏における野生動物対策と自然環境・地域安全の両立について



動画QRコード

問 近年、野生動物による被害が農作物だけでなく住宅地や通学路など生活圏にも広がる中、従来の農業被害対策に加え、「生活安全」「交通安全」「通学路安全」の観点を含めた対策や、行政・学校・地域が一体となった管理のあり方について

答 侵入防止柵や緩衝帯(バッファゾーン)の整備には地元の方々の協力が重要であり、「自分たちで守っていく」環境保全への意識を持って実施していただくことが大切であると考えています。

学校周辺での出没時には、メール配信システム「すぐーる」により情報共有を行うとともに、学校・警察・猟友会等と連携し、児童生徒の安全確保に努めています。野生動物対策は特定の方々だけの問題ではなく、町民一人ひとりが関わるべき「地域全体の課題」と考えております。関係機関との連携を強化し、環境づくりや啓発活動を進めながら課題に取り組みます。

佐藤 猛 議員

●町道などの愛称命名について ●サイクリングロードについて



動画QRコード

問 町道は「町道〇〇号線」など行政上の名称が多く、住民には分かりづらい状況です。町道や坂道に親しみやすい愛称を付けることで地域への愛着や観光振興につなげてはどうか。

答 道路への愛称命名は、地域への愛着形成や観光振興に有効であると認識しています。愛称の選定は、住民公募や小中学生、地域住民の参加による手法が望ましく、決定過程そのものが地域への誇りや絆を深める機会になると考えています。今後は先進自治体の事例を調査研究し、主要路線を対象とした導入の可能性を検討していきます。

問 岐阜県が進める木曽川流域のサイクリングルート構想について、坂祝町としてどのように連携・活用していく考えか。

答 木曽川流域のサイクリングルートについては、町も関係協議会に参画しており、日本ラインロマンチック街道を含むルートの案内看板や安全対策の整備を進めていきます。木曽川や岩屋観音、木曽川の森散策路などの地域資源を活かし、サイクリストが立ち寄りたくなる魅力づくりを進め、交流人口の拡大や地域活性化につなげていきます。

松田 賢治 議員

●保育士等の待遇改善と『こども未来戦略方針』について



動画QRコード

問 国の配置基準緩和と給与反映の乖離を踏まえ、本町における保育士の配置状況や処遇改善の実態について

答 町内の保育園、こども園は法人内の運営の中で適切に配置されていると承知しています。両園の状況について適宜確認しながら出来る支援を適正に行うことで、安心してこどもを預けられる保育環境の整備、質の高い保育の確保に努めてまいります。

問 「こども権利の日」の設定や集中啓発、教材による学習機会の確保を進め、条例の三層構造を分かりやすい表現で広く周知する方法について

答 重要なことは継続的に行っていくことだと考えておりますので、ご提案をいただきました「特別な日」も参考にさせていただき、引き続き効果的な方策を検討していきたいと思っております。